



コンクールを題材にした小説に注目し、音楽の都・浜松をアピール！

浜松市長 鈴木康友氏×直木賞作家 恩田陸氏の特別対談を実施 第10回 浜松国際ピアノコンクール 開催特集

今回で第10回を数える「浜松国際ピアノコンクール」。この節目のコンクールを盛り上げる広告特集を考える中、あるアイデアが出てきた。それが今回の特集の“キモ”となる浜松市長と恩田さんの対談である。直木賞、本屋大賞のW受賞という快挙を成し遂げた作品「蜜蜂と遠雷」はこの浜松国際ピアノコンクールを題材にして書かれた小説である。その作者である恩田さんが紙面に登場すれば、かなりインパクトがあるものになるのではないかと。

そこで東京本社の出版・エンタテインメント広告部と連携して出版元である「幻冬舎」にアタックし、恩田さんの快諾を得ることに成功した。並行して浜松市長もくどき、東海本社編集局の力も借りて、紙面化できることとなった。

営業面でもこの対談は非常に効果的で「ヤマハ」「河合楽器」という2大ピアノメーカーの出稿を取り込むことができた。また「音楽の都・浜松」へのさらなる発展を街全体で支える多種多様な広告主の賛同も得ることもできた。ヤマハの担当者からも「こういう紙面は実にありがたい。ピアノ(音楽)関連の企画があればまた提案してほしい」といった言葉も頂戴した。コンクールは11月開催だが券売も好調で、すでに完売した日(チケット)もある。

東海本社広告部 中嶋秀和

■現役浜松市長・鈴木康友氏と、直木賞作家・恩田陸氏の対談を実現!!